

財務レポート 2013

平成24事業年度【第二期中期目標期間 第3事業年度】



国立大学法人 兵庫教育大学

平成25年10月

財務内容の報告について

平成24年度の兵庫教育大学の財務状況をできる限りわかりやすくご理解いただくため、公表を義務付けられている財務諸表とは少し異なる視点から、「財務レポート2013」を作成しました。

目 次

ごあいさつ	2
本学のミッションとビジョン	3
大学の運営	
最近の主な事業活動	4
最近の国からの競争的資金の獲得状況	6
大学運営を支える資金	7
財務運営プロセス	8
国立大学法人の決算書類	9
国立大学法人会計の特徴	10
財務諸表等の概要	
貸借対照表	11
損益計算書	12
キャッシュ・フロー計算書	14
国立大学法人等業務実施コスト計算書	15
決算報告書	16
外部資金の受入状況	17
財務分析	
健全性	18
効率性・発展性	19
活動性	20

ごあいさつ



国立大学法人・兵庫教育大学に対し日ごろより温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

主に国からの運営費交付金を財源に運営される国立大学法人には、納税者である国民に対してさまざま情報を発信して、説明責任を果たすことが強く求められています。とりわけ、財務状況に関する情報開示は説明責任を果たす上で最重要です。また、それはわかりやすいものであればあるほど、説明責任を果たす度合いが高くなるといえます。このような考えから、本学では、法的に義務づけられている財務諸表の公表とは別に、財務諸表の内容を簡明に示した財務レポートを平成22年度から自主的に作成し、公表しております。

今回の財務レポートは平成24年度が対象ですが、そこには次のような特色が見て取れます。

運営費交付金収入と総収入が平成23年度比で、11教育系大学のなかで唯一増加していること。

総支出に占める人件費比率は11教育系大学のなかで最も低いこと。

総支出に占める教育経費比率と研究経費比率が、11教育系大学のなかで最も高いこと。

学生一人当たりの教育経費と教員一人当たりの研究経費も、11教育系大学のなかで最も多いこと。

一般運営費交付金は大学改革促進係数等により年々減額されているなかで、特別運営費交付金や科研費等の外部資金の獲得、教育研究費を優先するメリハリのある経費配分、徹底した経費節減に努めており、そうした経営努力の成果が現れていると考えています。

このような財務状況の維持と更なる改善のために、今後も一層の努力を行う所存です。本レポートをご一読頂き、忌憚のないご意見をお寄せ願います。

学 長 加治佐 哲也

兵庫教育大学のミッションとビジョン

本学は教員の資質能力の向上と学校教育の改善を求める社会的要請に応えるために、次のミッションとビジョンを掲げております。

[ミッション]

「現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成」

1. 現職教員に対し、教育現場の課題を踏まえた学びの場を提供することにより、専門職として高度な専門性と実践的指導力を育成します。

「実践力に優れた新人教員の養成」

2. 豊かな教育環境を生かして、実践力と人間性に優れた新人教員を養成します。また、教育大学の特性を生かして、学校教育分野の心理専門職を養成します。

「教育実践学の推進」

3. 学校教育に関する理論と実践を融合した研究(「教育実践学」)を推進し、優れた研究者を養成します。

「教師教育の先導的モデルの構築」

4. 国内外の学校教育の課題やニーズを不断に捉え、新しいカリキュラムや教育方法を主体的に改善・開発することにより、教員養成・研修の先導的モデルとなります。

「教育研究成果の国内外への発信」

5. 教育と研究の成果を地域や広く国内外に発信し、学校の教育活動に生かします。

[ビジョン]

「教師教育のトップランナー」

高い専門性と確かな実践力を備えた教員を養成するとともに、先導的な教育研究を推進して、教師教育の実践と研究における全国拠点(ナショナルセンター)並びに地域拠点(リージョナルセンター)となります。

「学生の持てる力を最大限に引き出す大学」

質の高い教育内容と充実した学習環境を提供して、学生一人ひとりがその可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足感を得られる大学となります。

「成長し続ける大学」

時代に即応する教育研究と大学運営を効果的に遂行できる環境を整備して、教職員の帰属意識を高め、成長し続ける大学となります。

大学の運営

最近の主な事業活動

大学の業務運営の財源として、学生の皆さんからの授業料や国から交付される運営費交付金・補助金等により、教育研究の新たな取り組みや大学環境の充実に向けた取り組みを日々行っております。本学の主な事業活動の一例をご紹介します。

教員養成高度化システムモデルの構築・発信(連携GP)

大学院修士課程のストレートマスターの教職専門性と実践的指導力の向上を目指し、兵庫県内の国公私立6大学と兵庫県教育委員会及び神戸市教育委員会の連携・協働により、大学院レベルの教員養成の高度化を図るシステムモデルの構築とその成果であるシステムモデルの全国発信を目的として、平成24年度から連携GP事業として開始しています。

現在、本学の大学院修士課程において、大学院レベルの実習と遠隔講義システムを活用した連携6大学の特色ある教職科目の相互提供の試行実施に向けて準備を行っております。

教員養成の抜本的改革に向けた体系的・機動的教育システムの開発(4プラスアルファ)

学部と修士課程・専門職学位課程との接合(4プラスアルファ)による新しい教員養成の在り方について、モデルカリキュラムの開発・試行及び機動的な教育システムの開発・実施により、教員の養成・継続教育を担う新しい教員養成大学の在り方の提案を行うこととしております。

このことに関して平成23年度から「教員養成の抜本的改革に向けた体系的・機動的教育システムの開発」に係る事業経費を獲得して、「4プラスアルファ」研究体制等検討チームにより、カリキュラム研究や教育システムの開発に取り組んでおります。

教育行政職幹部職員の能力育成モデルカリキュラムの開発

教員の資質能力向上施策の実施において極めて重要な役割を担う教育長や教育委員会幹部職員等の教育行政職幹部職員に必要な能力を明らかにするとともに、能力育成モデルカリキュラムを開発して関係機関等に提供することを目的とし、「教育行政職幹部職員の能力育成モデルカリキュラムの開発」事業を開始しました。

このことに関して平成24年度予算要求において本事業に係る事業経費を獲得して研究体制を整え、モデルカリキュラムの開発に向けての研究に取り組んでおります。

小・中学校における特別支援教育スーパーバイザー(仮称)育成プログラムの開発

発達障害への対応など特別支援教育の新たな展開を踏まえ学校教育の基盤を形成するため、教師モデル、学校モデル及び地域モデルを構築し、これらの成果を教師育成プログラム開発に反映させ、専門性の高い特別支援教育スーパーバイザー(仮称)育成を図ることを目的とし、平成25年度予算要求において本事業に係る事業経費を獲得するとともに研究体制を整え、プログラム開発に向けて取り組みを開始しました。

学生支援に係る取り組みの拡充

国立大学法人では、経済的理由で入学金・授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合には、納付を免除する制度がありますが、国の支援施策として平成24年度からの授業料免除率が学部・修士課程が7.3%から8.3%に拡大されたことに加え、本学独自の授業料免除制度の実施により、平成24年度においては、授業料約8千6百万円を免除しております。

また、その他本学独自の支援事業として、社会人教育支援プログラムの実施やHyokyo奨望奨学金の創設など、学生支援活動に取り組んでおります。

神戸ハーバーランドキャンパス(旧神戸サテライト)の拡充

大学院の夜間クラスの授業等に使用してきた神戸サテライト施設(神戸情報文化ビル3階フロアー)を拡張し、院生合同研究室、図書室のリニューアルに加え新たに兵教ホール、会議室を新設しました。
また、同施設内に遠隔講義システムを導入し情報発信機能の拡充したことを機に施設の名称を「神戸ハーバーランドキャンパス」に改称しました。



PAO(ラーニング・commons)がオープン

学生がともに学ぶ共有スペース＝ラーニング・commonsの整備の一つとして、附属図書館1階を改装し、新たな学習スペース「PAO(Peer learning, Active learning, Open learning)」が誕生しました。

PAOには、開放的なスペースの中で自由な組み合わせで協働学習ができるように可動式の机・椅子を配備し、大型の閲覧テーブルでゆったりと学習ができるエリアを設けるなど多彩なスペースが用意されています。



国際交流センターの開設

本学は、開学当初から国際社会への開かれた大学として、国際交流の推進と国際貢献を目標とし、積極的に研究者や学生の交流を推進してきました。

国際交流センターは、学内外にもわかりやすく学生たちが気軽に立ち寄ることができるように、総合研究棟1階に置かれ、欧米系やアジア系の学生や研究者に対応できる教員やスタッフを配置し、誰もが国際交流に親しみがもてるように整備されています。

太陽光発電設備の設置

環境教育への取組として嬉野台地区の旧バスケットコート跡地に太陽光発電設備を設置しました。

最大出力20kwの発電が可能で、発電された電力は嬉野台地区構内の電力の一部として消費されています。



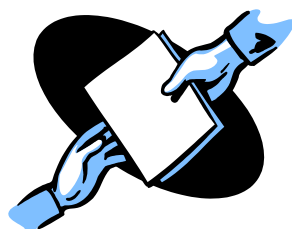
最近の国からの競争的資金の獲得状況

本学では、国が公募しているプロジェクト等の競争的資金の獲得に努めております。平成25年度の事業活動にかかる競争的資金の獲得状況は次のとおりです。

[下記予算額合計 約2億4千6百万円(大学全体の収入予算の約5.2%相当)]

[平成25年10月現在]

区 分	予算額	事 業 名
特別運営費交付金 (プロジェクト分)	1億1千9百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成の抜本的改革に向けた体系的・機動的教育システムの開発 ・教職キャリア開発センターを機軸にした人間力・教師力を備えた教師の育成 ・教育行政職幹部職員の能力育成モデルカリキュラムの開発 ・小・中学校における特別支援教育スーパーバイザー(仮称)育成プログラムの開発 ・教員養成機能の高度化に向けた教育支援システムの改善
国からの補助金	6千7百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成高度化システムモデルの構築・発信(連携GP) ・免許状更新講習障害者支援事業
国からの受託事業	6千万円	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業 ・スクール・コミュニティに向けた学校のマネジメント力強化に関する調査研究 ・特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 ・教育課程研究指定校事業(幼稚園) ・教育課程研究指定校事業(社会) ・教育課程研究指定校事業(技術・家庭) ・インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業 ・特別支援学級におけるICT環境利用実態の調査 ・今後の教職大学院におけるカリキュラムイメージに関する調査研究 <p style="text-align: right;">等</p>



大学運営を支える資金

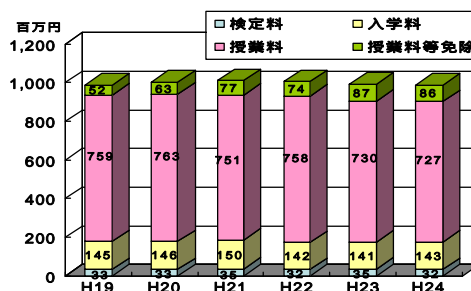
大学の収入

学生授業料・入学料・検定料

平成24年度における学生納付金収入は約9億7千万円、本学の運営収入の約18.0% (決算報告書ベース) を占めており、本学の主要な収入の一つです。国立大学法人における授業料、入学料および検定料は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」により標準額が定められており、各法人が一定の範囲内で決定することとなっています。本学では、標準額と同額に設定しています。

本学の授業料等

入学料	282,000円
授業料(年額)	535,800円
検定料 学部	17,000円、大学院 30,000円



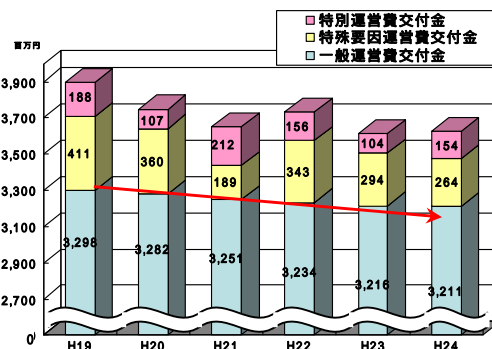
運営費交付金

国立大学法人の業務運営の財源として、運営費交付金(平成24年度の交付額は、36億3千万円で本学の運営収入の約67.2%(決算報告書ベース))が措置されています。この運営費交付金は、授業料などの収入と教育、研究などの実施にかかる支出の差額として、次の区分により交付されています。

- 一般運営費交付金 : 国立大学等の教育研究を実施する上で必要となる最も基礎的な経費(退職手当を除く。)
- 特別運営費交付金 : 新たな教育研究ニーズに対応し、各国立大学等の個性に応じた意欲的な取組みを重点的に支援するための経費。
- 特殊要因運営費交付金 : 義務的要素が強く、かつ年度毎に所要額が大きく(変動する経費(退職手当等)について、各国立大学等毎に個別に積算された経費。

なお、運営費交付金の基盤的な部分(一般運営費交付金)は、毎年大学改革促進係数により約1%ずつ削減(平成24年度では前年比2千7百万円減額)されているため、本学ではこのような実質的削減にも対応しつつ、業務運営にあたっています。

上記内訳別の国立大学法人運営費交付金の経年推移は右グラフのとおりです。



施設整備費補助金・施設費交付金

国立大学法人の施設整備事業の主な財源として、国から交付される施設整備費補助金と、国立大学財務・経営センターから措置される施設費交付金があります。

平成24年度では、文部科学省から交付された施設整備費補助金により教育・言語・社会棟の大規模な改修工事を行いました。また、施設費交付金により芸術棟のトイレ等の改修工事を行いました。

その他の収入

上記以外にも自己収入財源として、施設等の貸付料、学生寄宿舎料、公開講座等の講習料、心理臨床面接料等があります。更に、外部資金収入として、科学研究費、受託研究、共同研究、寄附金等があります。

国民一人あたりの負担額 約33円

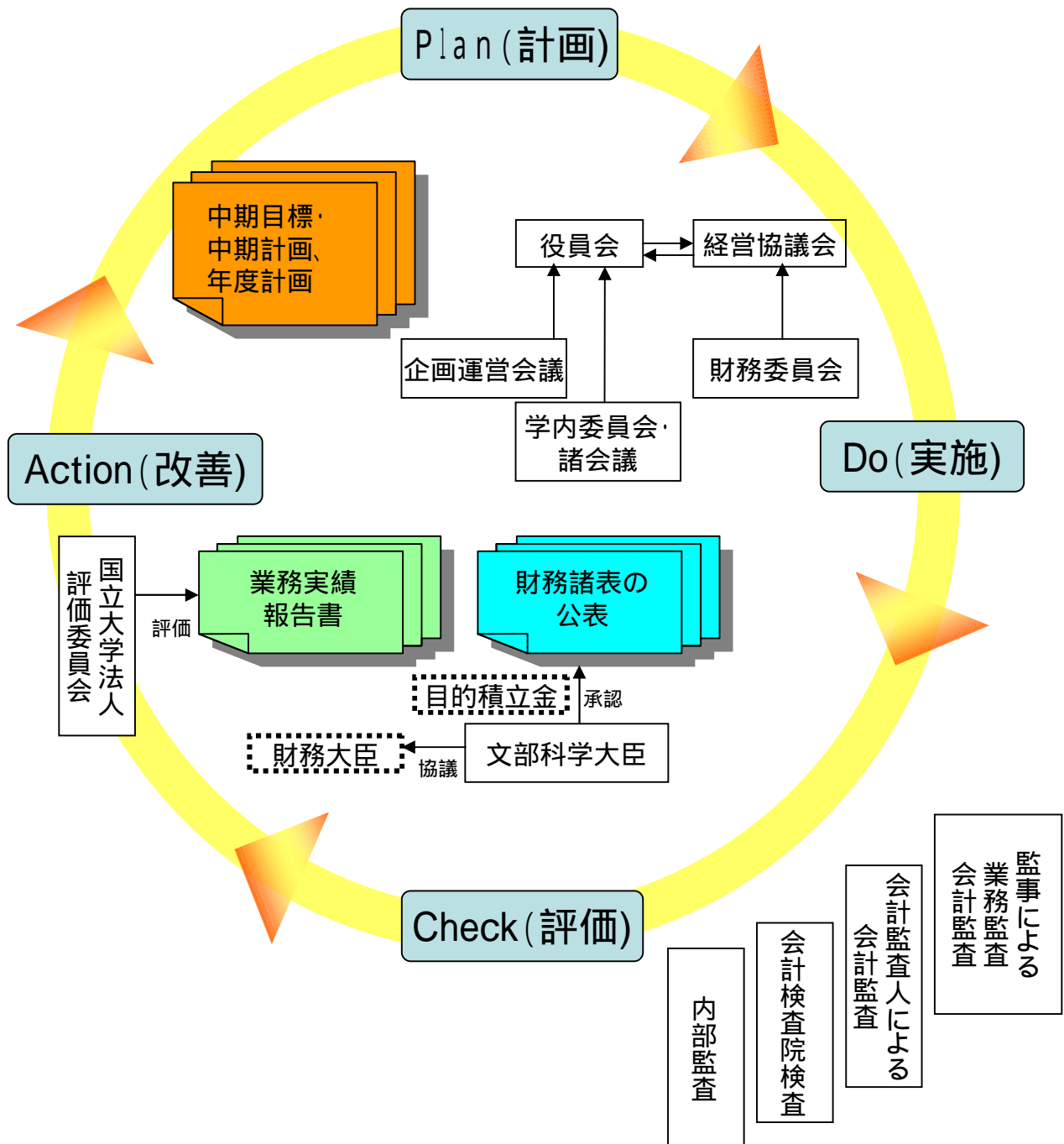
国立大学法人は、大学を運営していくために国民の皆様にとだけご負担いただいているかを明らかにするため、「国立大学法人等業務実施コスト計算書」の作成が義務付けられています。平成24年度において、本学業務運営に係る国民の皆様にご負担いただいたコストとしまして約42億円を計上しており、国民の皆様一人当たりのご負担額に換算しますと約33円となります。(詳細についてはP15をご覧ください)



財務運営プロセス

国立大学法人は、国からの運営費交付金や施設整備費補助金などの財源措置のほか、授業料等の学生納付金などのさまざまな事業収入により運営されております。

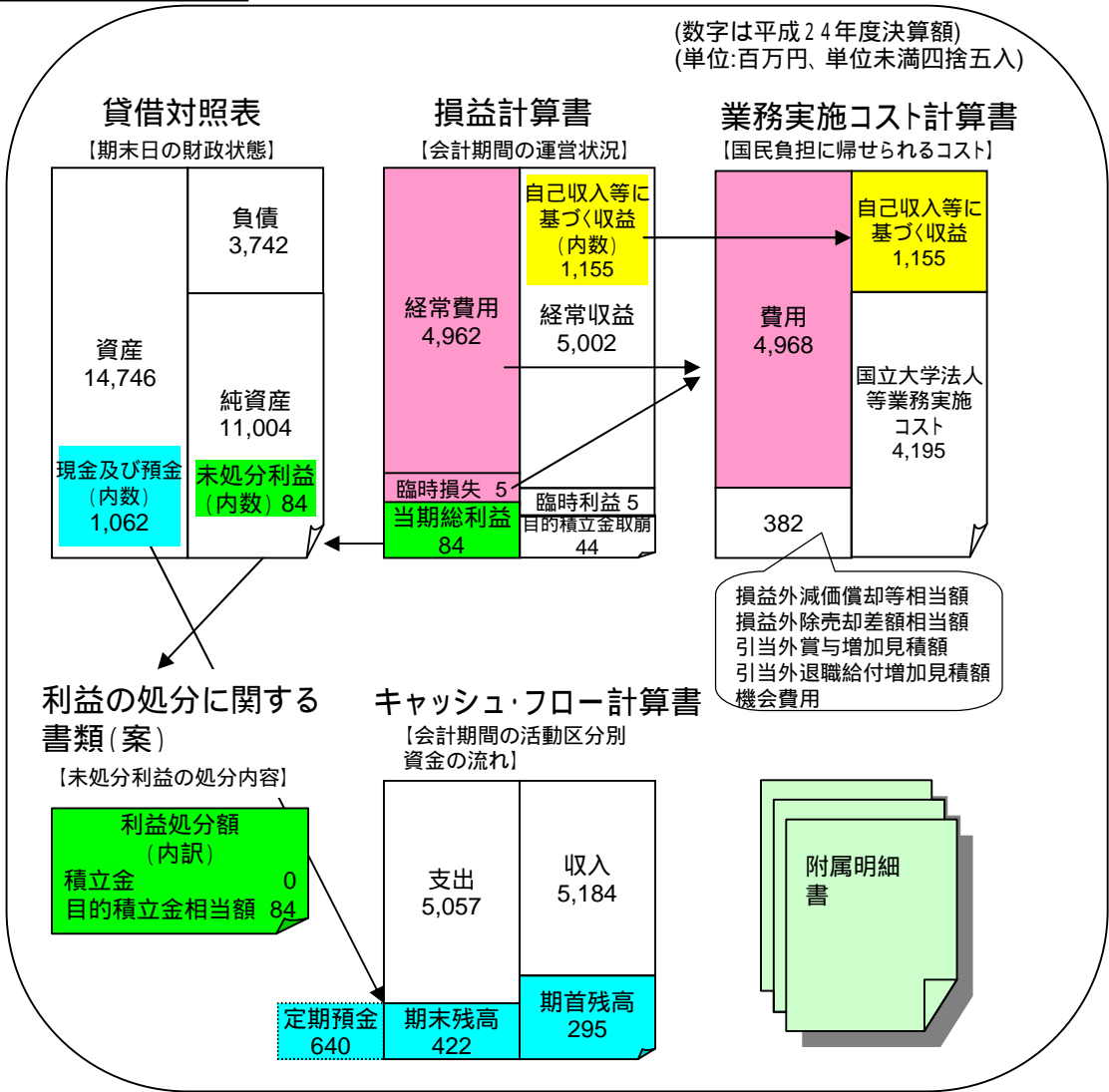
国立大学法人における業務運営は、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)という、いわゆるPDCAサイクルの実施により、常に評価し改善を図る仕組みを採用しており、財務会計もまたこのPDCAサイクルによる検証とその反映を繰り返すプロセスとなっております。その公共的な性格のため、負託された財源をどのように使用したかを国立大学法人会計基準に基づき、財務諸表を通して社会や国民の皆様へ開示しております。



国立大学法人の決算書類

国立大学法人は、企業会計に準拠した国立大学法人会計基準に従って、財務諸表を作成しております。また、企業会計にはない書類で、大学法人の業務運営に対する国民の皆様の負担を表す国立大学法人等業務実施コスト計算書や、官庁会計に準じた決算報告書を作成しております。

財務諸表の体系



決算報告書

【国の会計に準じた書類】

事業報告書

【財務諸表に添えることとされている報告書】

国立大学法人会計の特徴

国立大学法人の会計は以下のような特徴があります。

企業会計に準拠

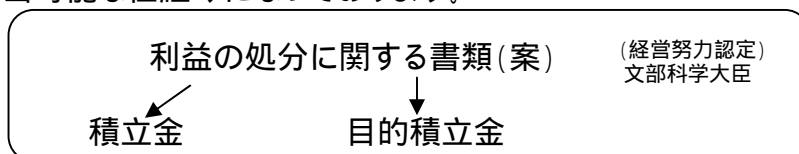
国の時代の収支会計と異なり、国立大学法人は企業会計に準拠した「国立大学法人会計基準」にしたがって、財務諸表を作成し、公表することが法律により義務付けられています。また、税金を主財源として運営しており、情報開示充実の観点から企業会計にはない「国立大学法人等業務実施コスト計算書」や、国の会計基準(官庁会計)に準拠した「決算報告書」や、財務諸表に添えることとされている「事業報告書」の作成も義務付けられています。

損益均衡の会計処理

教育研究機関である国立大学法人の特性に配慮し、企業会計に一定の修正を加えた会計になっており、原則として計画通りの業務運営を実施することで損益が均等する仕組みが採用されています。

経営努力を考慮

国立大学法人の経営努力により剰余(利益)が生じた場合、翌年度以降の業務運営の財源として充た可能な仕組みになっています。



国立大学法人の利益とは...

国立大学法人は営利を目的とせず、運営費交付金等を受けて業務を実施する法人であり、予定どおりに遂行されれば、損益均衡が基本となる会計制度がとられています。しかし、効率的な業務運営による経費の削減、自己収入の増加など経営努力を行った場合には利益が生じます。

目的積立金

決算の結果生じた当期末処分利益のうち、現金の裏付けがあり事業に使用することが可能な額を、申請に基づき文部科学大臣が経営努力認定を行うことにより、翌事業年度に繰り越すことができるものです。

積立金

目的積立金以外の当期末処分利益については、積立金として整理されます。

中期目標期間最終年度における未処分利益の処理について

中期目標期間の最終事業年度の運営費交付金債務の残額については精算を行うためにすべて臨時利益として収益化されます。

また、当期末処分利益や目的積立金の残額は積立金として整理され、翌事業年度において次期中期目標期間への積立金の繰越や精算による国庫返納といった振替処理が行われます。

財務諸表等の概要

貸借対照表(B/S)

(平成25年3月31日現在)

(単位:百万円)

区 分	H23	H24	区 分	H23	H24
【資産の部】	14,737	14,746	【負債の部】	3,717	3,742
(固定資産)	13,666	13,644	(固定負債)	2,635	2,643
土地	7,333	7,333	資産見返負債	2,497	2,556
建物	3,669	3,699	その他	138	88
構築物	224	202	(流動負債)	1,083	1,099
器具工具備品	368	317	運営費交付金債務	345	281
図書	1,984	1,999	その他	738	818
投資有価証券	-	-	【純資産の部】	11,020	11,004
その他	89	69	政府出資金	12,418	12,418
(流動資産)	1,071	1,102	資本剰余金	1,535	1,569
現金及び預金	985	1,062	目的積立金	115	59
有価証券	-	-	積立金	-	2
その他	85	40	前期中期目標期間 繰越積立金	10	10
資産 合計	14,737	14,746	当期未処分利益	13	84
			負債純資産 合計	14,737	14,746

記載金額は百万円未満を四捨五入しているため、計は必ずしも一致しません。

<<<貸借対照表の概要>>>

貸借対照表とは、国立大学法人等の財政状態を明らかにするため、貸借対照表日(年度末)現在における資産、負債及び純資産を記載し、国民の皆様にご覧いただくことを目的として表示するものです。

【資産の部】

平成24年度においては建物について減価償却累計額分を除くと、教育・言語・社会棟の大規模な改修を行ったこと等により約3千万円増加しております。

また、現金及び預金については補助金等の外部資金の獲得により前年度に比べ増加しております。

【負債の部】

資産見返負債は運営費交付金や寄附金等で資産を取得した際に発生します。国立大学法人会計の特徴的な勘定科目で、後に、その資産の減価償却費相当額を収益へ振り替えることとなります。

また、運営費交付金と寄附金は、一旦負債として計上したあと、業務の実施状況に応じて収益化することとなりますが、退職手当未使用分は収益化せず運営費交付金債務として繰り越すこととなります。

なお、平成24年度においては業務達成基準を適用した学内プロジェクトを執行したことにより前年度に比べて運営費交付金債務の残高が減少しております。

【純資産の部】

政府出資金は法人化移行時に国から出資を受けたものです。

資本剰余金は国から交付された施設費等で資産を購入したとき等に増加します。また、これらの固定資産の減価償却等に相当する額を減じています。

前年度から繰り越した目的積立金や積立金、当期未処分利益も純資産の部に含まれます。

なお、当期未処分利益の額と損益計算書の当期総利益の額は合致します。

損益計算書(P/L)

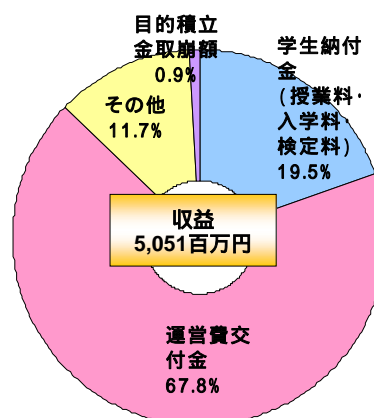
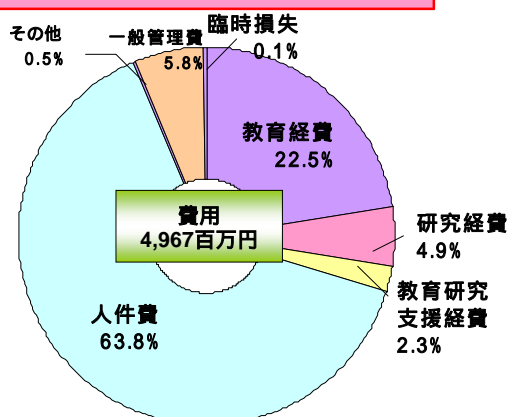
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
(単位:百万円)

区 分	H 2 3	H 2 4
【経常費用】	4,678	4,962
業務費	4,377	4,671
教育経費	978	1,119
研究経費	148	243
教育研究支援経費	115	114
人件費	3,112	3,168
その他	24	27
一般管理費	298	289
財務費用	4	3
【臨時損失】	-	5
【当期総利益】	13	84

区 分	H 2 3	H 2 4
【経常収益】	4,691	5,002
学生納付金収益	3,303	3,423
運営費交付金収益	997	987
その他	391	892
【臨時利益】	-	5
【目的積立金取崩額】	-	44

記載金額は百万円未満を四捨五入しているため、計は必ずしも一致しません。

平成24年度費用・収益に占める割合



<<<損益計算書の概要>>>

損益計算書は、一会計期間における大学運営状況を明らかにするために作成される計算書で、当該期間に属するすべての収益とこれに対応するすべての費用を記載し、それらの差額として当期総利益を明らかにしています。

【経常費用】

本学の人員費は経常費用の63.8%となっております。

なお、前年度と比較すると、経常費用総額は284百万円増加しています。人員費は退職手当の支給対象者の増減の影響により56百万円増加、教育・研究・支援経費は教育・言語・社会棟の改修等により765百万円増加しております。また、一般管理費については経費削減に努めたことにより9百万円の減少となっております。

教育経費を学生1人あたりに換算すると約71万円、研究経費を教員1人あたりに換算すると約110万円で、教育系11大学の中でもトップクラスとなっております。

【経常収益】

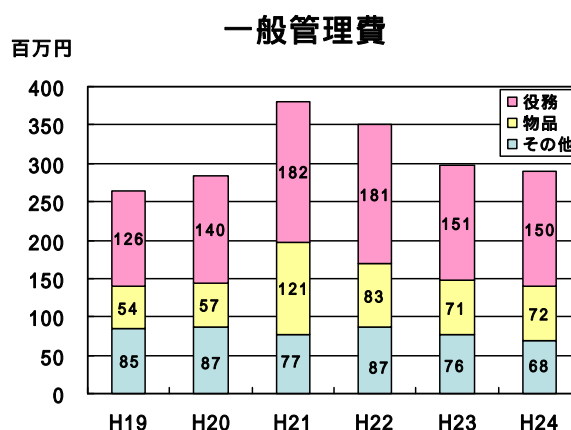
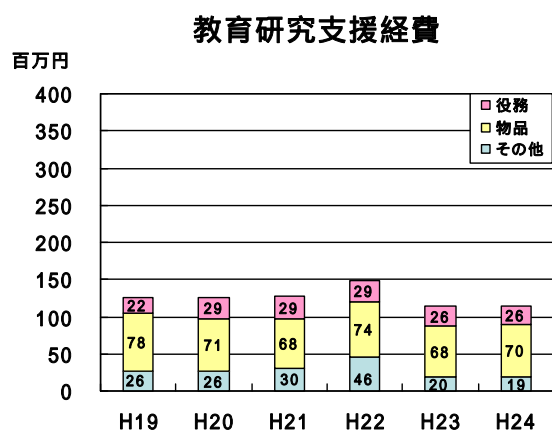
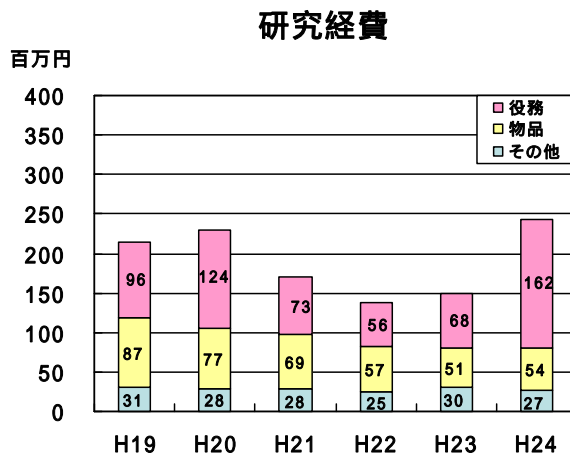
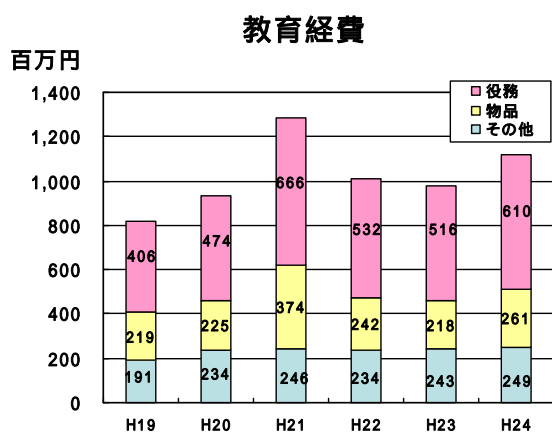
運営費交付金収益が67.8%を占めております。

学生納付金収益は19.5%となっております。そのうち82.1%は授業料収益です。

経常収益は前年度より311百万円増加しております。教育・言語・社会棟の改修による施設費収益や業務達成基準を適用した学内プロジェクトの執行による運営費交付金収益の増加等が影響しております。

損益計算書(P/L)つづき

<<<経常費用の主な内訳>>



<<<目的積立金の執行>>>

決算の結果生じた当期末処分利益のうち、現金の裏付けがあり事業に使用することが可能な額を、申請に基づき文部科学大臣が経営努力認定を行うことにより、翌事業年度に繰り越すことができる目的積立金として使用することができます。

平成24年度における目的積立金(教育研究充実積立金)の執行状況は次のとおりです。

	(単位:千円)
老朽施設改修・設備更新等経費	42,925
学生寄宿舍・国際交流会館改修計画経費	9,531
大学会館改修経費	9,951
神戸サテライト充実事業経費	3,677
計	66,084

キャッシュ・フロー計算書(C/F)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円)

区 分	H23	H24
業務活動によるキャッシュ・フロー	305	15
人件費支出	3,110	3,111
その他の業務支出	1,373	1,515
運営費交付金収入	3,613	3,487
学生納付金収入	905	902
その他の業務収入	270	252
国庫納付金の支払額	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	200	180
有価証券の償還(売却)による収入	-	-
有価証券の取得による支出	-	-
定期預金の払戻による収入	0	50
定期預金への支出	144	0
固定資産の取得による支出	140	363
施設費による収入	84	493
利息の受取	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	68	68
ファイナンスリース債務の返済による支出	64	65
利息の支払額	4	3
資金に係る換算差額	-	-
資金増加額	37	127
資金期首残高	258	295
資金期末残高	295	422

記載金額は百万円未満を四捨五入しているため、計は必ずしも一致しません。

<<<キャッシュ・フロー計算書の概要>>>

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における資金収支の状況を一定の活動区分に表示して、本学の活動を資金の流れから表すものです。

内容は、「業務活動」、「投資活動」、「財務活動」の3つに区分され、どの活動から資金を調達し、どの活動に資金が使用されているかを表しております。

【業務活動によるキャッシュ・フロー】

通常の業務の実施にかかる各事業収入や人件費支出などの資金の動きを表しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来に向けた運営基盤確立のための固定資産の取得や資金運用などの資金の動きを表しております。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

業務活動及び投資活動を維持するための借入金などの調達・返済にかかる資金の動きを表しております。

【資金期末残高】

貸借対照表の現金及び預金勘定から定期預金を差し引いたものとなります。

なお、資金総額としては、これ以外に資金運用のための定期預金が約6億4千万円があります。

国立大学法人等業務実施コスト計算書(〇/〇)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
(単位：百万円)

区 分	H 2 3	H 2 4
業務費用	3,510	3,813
(1) 損益計算書上の費用	4,678	4,968
(2) (控除)自己収入等	1,168	1,155
損益外減価償却等相当額	258	257
損益外減損損失累計額	-	-
損益外利息費用累計額	-	-
損益外除売却差額相当額	0	17
引当外賞与増加見積額	1	14
引当外退職給付増加見積額	75	65
機会費用	102	58
(控除)国庫納付額	-	-
国立大学法人等業務実施コスト	3,945	4,195

記載金額は百万円未満を四捨五入しているため、計は必ずしも一致しません。

<<<国立大学法人等業務実施コスト計算書の概要>>>

国立大学法人等業務実績コスト計算書とは、国立大学法人等の業務運営に関して国民の皆様が負担するコストを集約し、情報開示の徹底を図り、納税者である国民の皆様の国立大学法人等における業務に対する評価・判断に資するための計算書です。

【業務費用】

損益計算書における費用から授業料収益や外部資金収入などの自己収入額を差し引いたものです。すなわち、国からの財源で賄われている費用を明らかにしております。

【損益外減価償却等相当額 / 損益外除売却差額相当額 / 引当外賞与増加見積額 / 引当外退職給付増加見積額】

国立大学法人会計の特徴により国立大学法人では国から出資された資産等特定の資産の減価償却及び一部賞与や退職手当金が費用として損益計算書に計上されないものがあります。その損益計算書に含まれない国民の皆様の負担額を表しております。

【機会費用】

国等の資産を利用する際に、国立大学法人であることで免除・軽減されているコストを算出しております。

本学の平成24年度の業務実施コスト、すなわち国民の皆様にご負担いただいているコストは、約41億9千5百万円となっており、国民総人口(平成24年10月1日現在、住民基本台帳に基づく全国の人口127,515千人)で割り戻すと、1人当たりのコスト負担額は約33円となります。

決算報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差引 (決算 - 予算)	
運営費交付金	3,628	3,640	12	
施設整備費補助金	417	454	37	H23からの施設整備費補助金の繰越により増額
補助金等収入	-	74	74	新たに大学改革等推進補助金等の交付を受けたことにより増額
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	29	0	
自己収入	1,130	1,087	43	
授業料、入学料及び検定料収入	1,015	975	40	授業料等の免除申請の増により減額
雑収入	115	112	3	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	56	67	11	受託事業や寄附金の獲得に努めたことにより増額
目標積立金取崩	-	66	66	目的積立金の取り崩し事業を実施したことにより増額
計	5,260	5,417	157	

支出

区分	予算額	決算額	差引 (決算 - 予算)	
業務費	4,758	4,618	140	経費の節減に努めたため少額
教育研究経費	4,758	4,618	140	
施設整備費	446	483	37	H23からの繰越事業を実施したことにより増額
補助金等	-	74	74	新たに交付を受けた補助金事業の実施により増額
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	56	68	12	受託事業や寄附金の獲得に努め事業を実施したことにより増額
計	5,260	5,243	17	

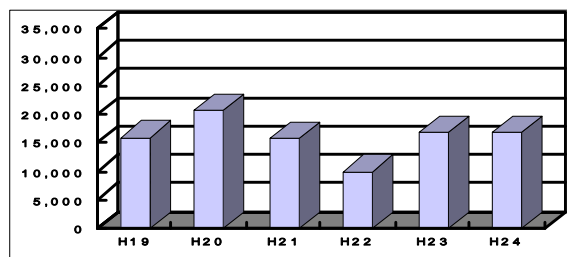
<<<決算報告書の概要>>>

決算報告書は、現金主義を基礎とする国の会計基準(官庁会計)に準じ、国と同様に予算の区分による管理として予算計画と対比して執行状況を表す書類です。

「決算報告書」等は財務諸表に添えて文部科学大臣に提出する報告書となっております。

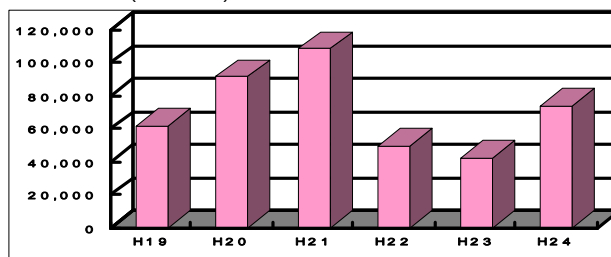
過去6年間の外部資金の受入状況

【寄附金】



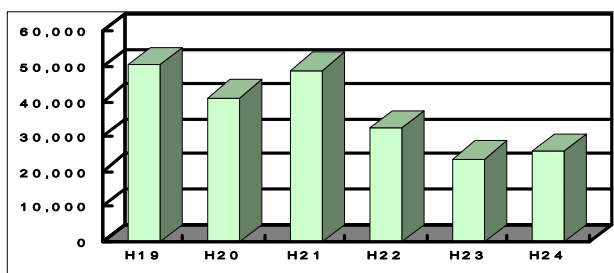
	(千円)					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
金額	15,965	20,755	15,765	9,872	16,853	16,749
件数	19件	21件	19件	10件	15件	19件

【補助金(GP等)】



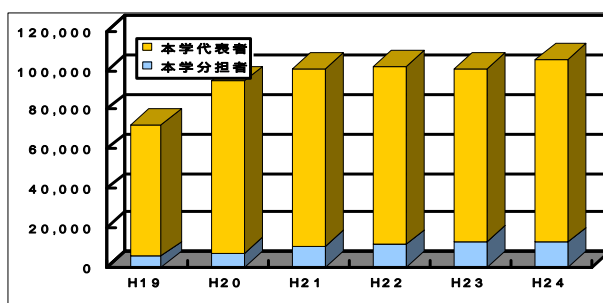
	(千円)					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
金額	61,815	91,087	108,621	49,659	42,661	74,103
件数	4件	8件	5件	2件	2件	2件

【受託研究・共同研究・受託事業】



	(千円)					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
金額	50,334	41,085	48,927	32,291	23,752	25,710
件数	22件	20件	17件	14件	14件	14件

【科学研究費補助金等】



	(千円)					
区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24
代表者	61,986	80,161	80,025	79,395	74,748	93,652
分担者	5,282	7,222	10,579	11,388	13,081	12,149
計	67,230	87,383	90,604	90,782	87,829	105,801
件数	49件	60件	82件	92件	96件	108件

平成24年度受入状況一覧

(千円)

区分	件数	金額
寄附金	19件	16,749
補助金(GP等)	2件	74,103
受託研究・共同研究・受託事業	14件	25,710
科学研究費補助金等	108件	105,801
その他	-	440
合計		222,803

(間接経費分を含む)

研究者個人等が獲得する科学研究費補助金等の直接経費は「預り金」として法人の収入とは区別して経理していますが、大学内の研究活動の基盤的資金として重要な位置を占めております。また、これらの補助金に係る間接経費は大学の収入として経理されます。

財務分析

財務分析で用いられる8つの指標により、健全性 効率性 発展性 活動性の4つの視点から分析したものです。本学の過去6年間の推移と教育系11大学の平均値並びに全大学の平均値をグラフ化し表示しています。

健全性

指標	指標の説明																													
運営費交付金比率 【低い方が望ましい】	$= \text{運営費交付金収益} \div \text{経常収益}$ <p>経常的な活動に係る資金のうちどの程度を運営費交付金に依存しているかを示す指標です。</p> <table border="1"> <caption>運営費交付金比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>74.6%</td> <td>~68%</td> <td>~42%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>72.5%</td> <td>~68%</td> <td>~41%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>71.0%</td> <td>~68%</td> <td>~40%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>70.8%</td> <td>~68%</td> <td>~38%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>70.4%</td> <td>~68%</td> <td>~39%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>68.4%</td> <td>~66%</td> <td>~38%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	74.6%	~68%	~42%	H20	72.5%	~68%	~41%	H21	71.0%	~68%	~40%	H22	70.8%	~68%	~38%	H23	70.4%	~68%	~39%	H24	68.4%	~66%	~38%	<p>競争的資金である特別経費の獲得や連合大学院の基幹校であることなどから教育系大学の中では高い数値で推移しておりますが、運営費交付金の大学改革促進係数等により年々低減しております。</p> <p>また、教育系大学は総合大学や理工系の大学に比べ運営費交付金比率が高い傾向にあります。</p>
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	74.6%	~68%	~42%																											
H20	72.5%	~68%	~41%																											
H21	71.0%	~68%	~40%																											
H22	70.8%	~68%	~38%																											
H23	70.4%	~68%	~39%																											
H24	68.4%	~66%	~38%																											
流動比率 【高い方が望ましい】	$= \text{流動資産} \div \text{流動負債}$ <p>1年以内に支払う負債(流動負債)に対して、1年以内に現金化する資産(流動資産)がどの程度確保されているかを示す指標です。</p> <table border="1"> <caption>流動比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>136.0%</td> <td>~115%</td> <td>~105%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>150.6%</td> <td>~115%</td> <td>~105%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>108.5%</td> <td>~115%</td> <td>~105%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>97.3%</td> <td>~105%</td> <td>~100%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>98.9%</td> <td>~105%</td> <td>~100%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>100.3%</td> <td>~105%</td> <td>~105%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	136.0%	~115%	~105%	H20	150.6%	~115%	~105%	H21	108.5%	~115%	~105%	H22	97.3%	~105%	~100%	H23	98.9%	~105%	~100%	H24	100.3%	~105%	~105%	<p>平成23年度から業務達成基準を適用した学内プロジェクトを開始しているため、流動資産と流動負債がともに増加しております。</p>
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	136.0%	~115%	~105%																											
H20	150.6%	~115%	~105%																											
H21	108.5%	~115%	~105%																											
H22	97.3%	~105%	~100%																											
H23	98.9%	~105%	~100%																											
H24	100.3%	~105%	~105%																											

効率性

指標	指標の説明																													
<p>人件費比率</p> <p>【低い方が望ましい】</p>	<p>=人件費 ÷ 業務費</p> <p>人件費が業務費に占める割合の指標です。大学本来の業務を効率よく行うためにはある程度比率は低い方が望ましい。</p>	<p>総人件費改革(平成22年度までに5%の人件費削減)に対応し、また外部資金獲得増による業務費の増加に伴い比率も減少しております。</p>																												
	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>人件費比率 (H19-H24)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>73.8%</td> <td>78.0%</td> <td>58.0%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>70.7%</td> <td>78.0%</td> <td>58.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>65.8%</td> <td>75.0%</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>69.8%</td> <td>78.0%</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>71.1%</td> <td>78.0%</td> <td>55.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>67.8%</td> <td>78.0%</td> <td>55.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	73.8%	78.0%	58.0%	H20	70.7%	78.0%	58.0%	H21	65.8%	75.0%	55.0%	H22	69.8%	78.0%	55.0%	H23	71.1%	78.0%	55.0%	H24	67.8%	78.0%	55.0%	
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	73.8%	78.0%	58.0%																											
H20	70.7%	78.0%	58.0%																											
H21	65.8%	75.0%	55.0%																											
H22	69.8%	78.0%	55.0%																											
H23	71.1%	78.0%	55.0%																											
H24	67.8%	78.0%	55.0%																											
<p>一般管理費比率</p> <p>【低い方が望ましい】</p>	<p>=一般管理費 ÷ 業務費</p> <p>一般管理費と業務費の比率を示す指標です。一般管理費は大学の管理運営に係る費用であり、大学本来の業務を効率よく行うためにはある程度低い方が望ましい。</p>	<p>学生募集や広報活動に要する経費が多く、やや高い数値で推移しております。</p> <p>なお、平成24年度においても前年度より減少しており、業務改善など可能な限り削減に努めております。</p>																												
	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>一般管理費比率 (H19-H24)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>5.8%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>6.3%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>7.9%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>8.0%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>6.8%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>6.2%</td> <td>4.0%</td> <td>4.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	5.8%	4.0%	4.0%	H20	6.3%	4.0%	4.0%	H21	7.9%	4.0%	4.0%	H22	8.0%	4.0%	4.0%	H23	6.8%	4.0%	4.0%	H24	6.2%	4.0%	4.0%	
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	5.8%	4.0%	4.0%																											
H20	6.3%	4.0%	4.0%																											
H21	7.9%	4.0%	4.0%																											
H22	8.0%	4.0%	4.0%																											
H23	6.8%	4.0%	4.0%																											
H24	6.2%	4.0%	4.0%																											

発展性

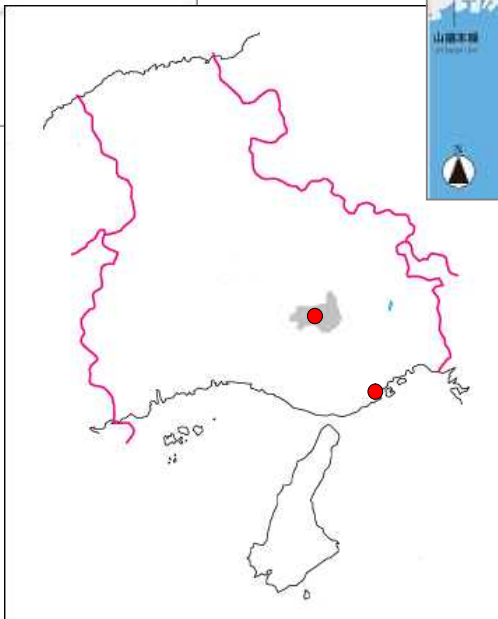
指標	指標の説明																													
<p>外部資金比率</p> <p>【高い方が望ましい】</p>	<p>= (受託研究等収益 + 受託事業等収益 + 寄附金収益 + 補助金収益) ÷ 経常収益</p> <p>科学研究費補助金を除く。</p> <p>経常収益に占める外部資金収益の比率を示す指標です。</p>	<p>平成24年度においては、GP等の外部資金を前年度よりも多く獲得しておりますが、施設整備費補助金の執行により経常収益が増加しているため、比率は減少しております。</p>																												
	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>外部資金比率 (H19-H24)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>2.6%</td> <td>3.0%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>3.2%</td> <td>3.0%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>4.4%</td> <td>3.0%</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>3.3%</td> <td>3.0%</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2.0%</td> <td>3.0%</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1.9%</td> <td>3.0%</td> <td>11.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	2.6%	3.0%	10.0%	H20	3.2%	3.0%	10.0%	H21	4.4%	3.0%	12.0%	H22	3.3%	3.0%	11.0%	H23	2.0%	3.0%	11.0%	H24	1.9%	3.0%	11.0%	
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	2.6%	3.0%	10.0%																											
H20	3.2%	3.0%	10.0%																											
H21	4.4%	3.0%	12.0%																											
H22	3.3%	3.0%	11.0%																											
H23	2.0%	3.0%	11.0%																											
H24	1.9%	3.0%	11.0%																											

指標	指標の説明																													
自己収入比率 【高い方が望ましい】	$\text{自己収入} \div \text{経常収益}$ 自己収入が経常収益に占める割合の指標です。	自己収入額はほぼ横ばいとなっておりますが平成24年度においては分母にある経常収益の増加により減少しております。																												
	<table border="1"> <caption>自己収入比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>21.7%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>22.0%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>23.0%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>23.2%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>23.7%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>22.0%</td> <td>27.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	21.7%	27.0%	16.0%	H20	22.0%	27.0%	16.0%	H21	23.0%	27.0%	16.0%	H22	23.2%	27.0%	16.0%	H23	23.7%	27.0%	16.0%	H24	22.0%	27.0%	16.0%
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	21.7%	27.0%	16.0%																											
H20	22.0%	27.0%	16.0%																											
H21	23.0%	27.0%	16.0%																											
H22	23.2%	27.0%	16.0%																											
H23	23.7%	27.0%	16.0%																											
H24	22.0%	27.0%	16.0%																											

活動性

指標	指標の説明																													
教育経費比率 【高い方が望ましい】	$\text{教育経費} \div \text{経常費用}$ 教育経費が経常費用に占める割合の指標です。	経常費用については毎年増加しており、教育経費についても同様に増加しております。平成24年度においても高い値で推移しております。 また、教育系大学の中では本学がトップの比率となっております。																												
	<table border="1"> <caption>教育経費比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>16.8%</td> <td>13.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>19.3%</td> <td>13.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>24.9%</td> <td>17.0%</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>21.2%</td> <td>13.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>20.9%</td> <td>13.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>22.6%</td> <td>16.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	16.8%	13.0%	6.0%	H20	19.3%	13.0%	6.0%	H21	24.9%	17.0%	7.0%	H22	21.2%	13.0%	6.0%	H23	20.9%	13.0%	6.0%	H24	22.6%	16.0%	6.0%
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	16.8%	13.0%	6.0%																											
H20	19.3%	13.0%	6.0%																											
H21	24.9%	17.0%	7.0%																											
H22	21.2%	13.0%	6.0%																											
H23	20.9%	13.0%	6.0%																											
H24	22.6%	16.0%	6.0%																											
研究経費比率 【高い方が望ましい】	$\text{研究経費} \div \text{経常費用}$ 研究経費が経常費用に占める割合の指標です。	平成24年度においては特別経費における研究経費の執行に加え、研究棟の改修工事の影響により前年度より増加しております。 また、教育系大学の中では本学がトップの比率となっております。																												
	<table border="1"> <caption>研究経費比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>4.4%</td> <td>3.5%</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>4.9%</td> <td>3.5%</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3.3%</td> <td>3.5%</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>2.9%</td> <td>3.5%</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>3.2%</td> <td>3.5%</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>4.9%</td> <td>3.5%</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	4.4%	3.5%	8.5%	H20	4.9%	3.5%	8.5%	H21	3.3%	3.5%	9.0%	H22	2.9%	3.5%	8.5%	H23	3.2%	3.5%	9.5%	H24	4.9%	3.5%	10.0%
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	4.4%	3.5%	8.5%																											
H20	4.9%	3.5%	8.5%																											
H21	3.3%	3.5%	9.0%																											
H22	2.9%	3.5%	8.5%																											
H23	3.2%	3.5%	9.5%																											
H24	4.9%	3.5%	10.0%																											

指標	指標の説明																													
<p>学生1人当たり教育経費</p> <p>【高い方が望ましい】</p>	<p>=教育経費÷学生数</p> <p>学生1人当たりの教育経費であり、この数値が大きいほど学生1人当たりの教育に要する経費が高いと判断される指標です。(附属学校の児童生徒を除きます。)</p> <table border="1"> <caption>学生1人当たり教育経費 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>516</td> <td>300</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>587</td> <td>320</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>806</td> <td>380</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>629</td> <td>320</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>617</td> <td>330</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>712</td> <td>350</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	516	300	250	H20	587	320	250	H21	806	380	280	H22	629	320	250	H23	617	330	250	H24	712	350	280	<p>教育経費が年々増加しており、学生1人当たりの教育に要する経費も同様に増加しております。</p> <p>平成24年度においても高い値で推移しております。</p> <p>また、教育系大学の中では本学がトップの値となっております。</p>
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	516	300	250																											
H20	587	320	250																											
H21	806	380	280																											
H22	629	320	250																											
H23	617	330	250																											
H24	712	350	280																											
<p>教員1人当たり研究経費</p> <p>(学内予算での研究経費)</p> <p>【高い方が望ましい】</p>	<p>=研究経費÷教員数</p> <p>教員1人当たりの研究活動を経費面で示す指標です。(常勤の教員のみ、附属学校の教員を含みます。)</p> <table border="1"> <caption>教員1人当たり研究経費 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>956</td> <td>800</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,059</td> <td>800</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>791</td> <td>800</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>617</td> <td>800</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>674</td> <td>800</td> <td>3,800</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,103</td> <td>800</td> <td>4,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	956	800	3,000	H20	1,059	800	3,200	H21	791	800	3,500	H22	617	800	3,500	H23	674	800	3,800	H24	1,103	800	4,000	<p>平成24年度においては特別経費における研究経費の執行に加え、研究棟の改修工事の影響により前年度より増加しております。</p> <p>また、教育系大学の中では本学がトップの値となっております。</p>
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	956	800	3,000																											
H20	1,059	800	3,200																											
H21	791	800	3,500																											
H22	617	800	3,500																											
H23	674	800	3,800																											
H24	1,103	800	4,000																											
<p>教員1人当たり広義研究経費</p> <p>(外部資金を含めた研究経費)</p> <p>【高い方が望ましい】</p>	<p>=(研究経費+受託研究等+科学研究費等)÷教員数</p> <p>教員1人当たりの研究活動を科学研究費補助金等も含めた広義の経費面で示す指標です。(常勤の教員のみ、附属学校の教員を含みます。)</p> <table border="1"> <caption>教員1人当たり広義研究経費 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>兵庫教育大学</th> <th>教育系大学平均</th> <th>全大学平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>1,322</td> <td>1,500</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,525</td> <td>1,500</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,305</td> <td>1,500</td> <td>8,500</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>941</td> <td>1,500</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>987</td> <td>1,500</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,476</td> <td>1,500</td> <td>8,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均	H19	1,322	1,500	8,000	H20	1,525	1,500	8,000	H21	1,305	1,500	8,500	H22	941	1,500	8,000	H23	987	1,500	8,000	H24	1,476	1,500	8,500	<p>受託研究や科学研究費等の外部資金の獲得の結果、例年増加しております。</p> <p>また、教育系大学の中では本学がトップの値となっております。</p>
年度	兵庫教育大学	教育系大学平均	全大学平均																											
H19	1,322	1,500	8,000																											
H20	1,525	1,500	8,000																											
H21	1,305	1,500	8,500																											
H22	941	1,500	8,000																											
H23	987	1,500	8,000																											
H24	1,476	1,500	8,500																											



マスコットキャラクター



財務レポート2013
[平成24事業年度]
平成24年4月1日～平成25年3月31日
【発行】
国立大学法人兵庫教育大学
総務部財務課財務企画チーム
〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
TEL 0795-44-2020 FAX 0795-44-2019
ホームページ <http://www.hyogo-u.ac.jp>